

# 社内外へのアピール (事例：セイコーエプソン株式会社)

## 社員が安心して働ける職場環境

セイコーエプソン(株)では、「安全衛生基本理念」を制定し、「安全衛生環境の維持向上」と「健康の増進」が企業体質の根幹をなすと考え、2000年度から独自のOSHMS『NESP』活動を導入し、労働安全衛生の総合的な向上を図っています。2002年度の下期には、すべての国内関係会社、海外製造系関係会社で本格的に運用しています。

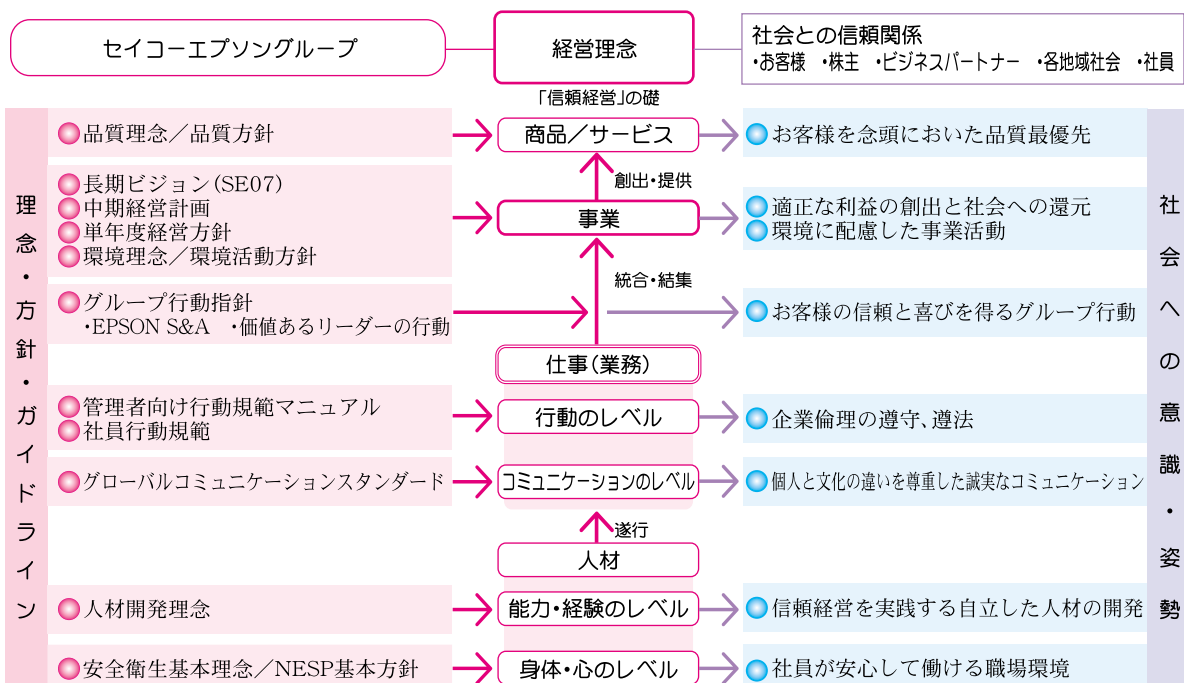
OSHMS『NESP』を導入したことにより、企業としての安全衛生への取組みを社内外へ明確に説明することができるようになり、その活動がそれぞれの地域・国において信頼され、認められています。

	実施項目	00年度	01年度		02年度		03年度
			上期	下期	上期	下期	
国内事業部 ・ 関係会社	キックオフ	2月					継 続 的 改 善
	●安全衛生基本理念制定		▶				
	●教育		→				
	●リスクアセスメント特定・評価			→			
海外製造系 関係会社	キックオフ		7月				改 善
	●教育			→			
	●リスクアセスメント特定・評価				→		
	●改善活動					→	

【図5 『NESP』活動導入・推進経過】

## 企業の信頼

同社では、経営理念において、「世界の人々に信頼され社会とともに発展する開かれた会社でありたい」と掲げ、世界各国のお客様、株主・投資家、ビジネスパートナー、各地域社会の住民等に対する企業の社会的責任（CSR）を果たし、適切な情報開示と誠実なコミュニケーションを行い、信頼関係を築き上げていく「信頼経営」こそが企業活動の根幹であるとしています。



【図6 事業活動と社会との関わり】